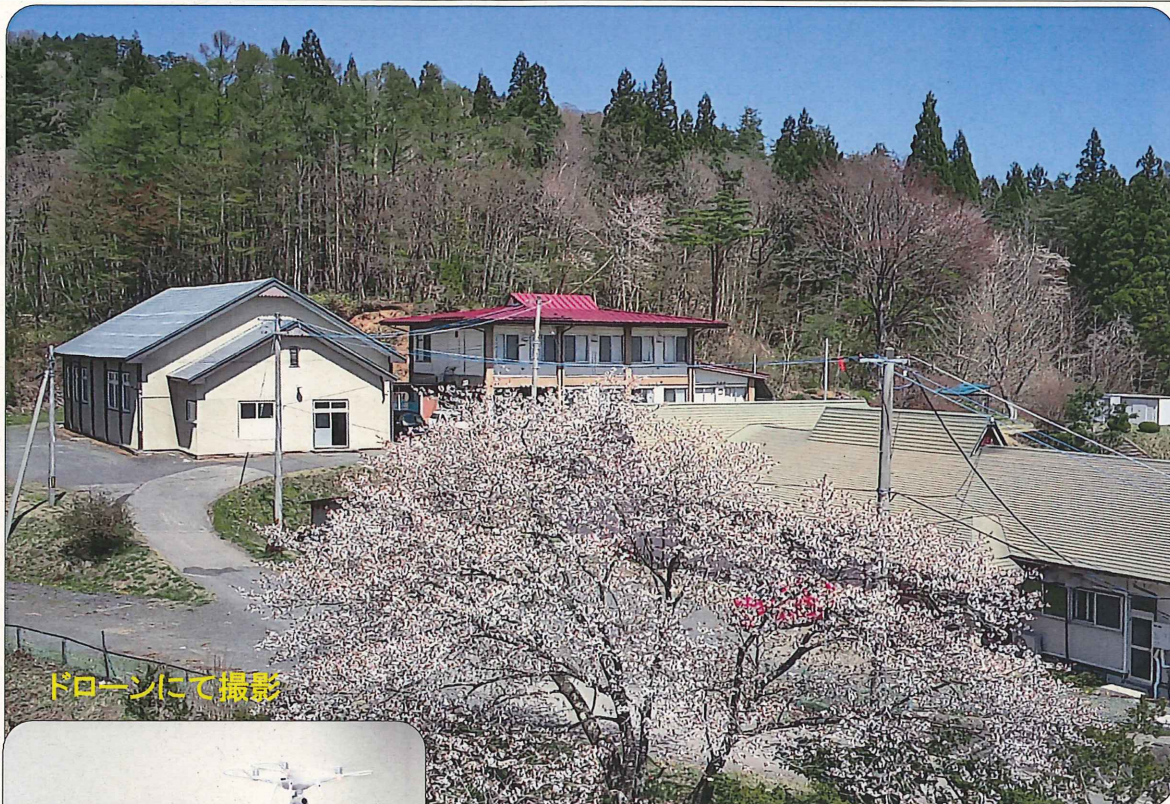




発行
浮田地区コミュニティ会議
電話&FAX
0198-42-1681

タイトル画説明

草の伸びがゆっくりの今春、タチツボスミレの群れが地面を覆う。花は白のジュンベリー、つぼみはたくさんの色彩に満ちる。シダの葉が開く前の力強いグーに惹かれ、開きかけの葉の動きと色合いをたのしむ。
絵・文(実)



ドローンにて撮影



間違った4日間(輝)

ドローン講習会

今年度初の事業として標記講習会4月27日〜30日の4日間浮田集会所講堂を会場に開催しました。
受講者は都合にあわせ4日間の内、午前で1コマ、午後で1コマから4コマ以上を受講し、修了証が20名に交付されました。
講師はドローン映像でコマシナル制作等も手掛ける花巻在住の白藤悦雄さん。
参加者は受講後ご自分のドローンを購入し練習を重ね趣味や農業、環境問題にも活用していきたく感じました4日間(輝)

新年度活動開始



新年度の「結いの里」配布の頃には中内・浮田・毒沢各地域の田植も一段落でしょう。

4月10日総会で、事業報告・事業計画共に承認され、新年度の活動も開始しております。

昨年度は、新型コロナの影響で、事業規制が掛かり見直し等を行いながらの活動でした。参加者の「密」を避ける指導で、なかなか賑やかな講座・研修とはいきませんでした。が「コロナに負けるな！グラウンドゴルフ大会」「防災イベント」など、この時期だから見いだせた事業もありました。



今年度は、地域内での除雪支援システムも構築予定としました。また、昨年開催を見送った「芸農まつり」については、7月の実行委員会判断をします。
事業等は、今年度も通常の計画をしておりますが、状況により調整しながら、実施いたしますので、皆さんの参加を宜しくお願い致します。
5月よりワクチンの接種が開始されております。一日も早いコロナ感染の終息を願うところです。(会長)

「発刊10周年便り念」

小菅 信子さん
 父が亡くなり、生活環境が百八十度変化しました。そして、このコロナ! 当たり前に出来た事が出来ない。二匹の白猫、ムギ&ホップと過ごす時間。でも、缶ビール片手に野球観戦もカナ!?



小菅 ルリ子さん
 仕事、子育てに一生懸命な毎日でした。10年前と比べると落ちていてゆつくり過ごす事の大切さをかんじられる位、余裕が持てるようになりました。夜、ゆつくり読書できる事が一番リラックスできます。



佐々木 アツ子さん
 ①毎回拝読しております。強いて言えば、やさしい感じのタイトル画かと思いません。
 ②地区の行事に子供の声が少ないなってきたこと。
 ③ドライブと温泉めぐりが楽しみです。笑顔の時間となりました。現在はステイホーム



佐々木 登代子さん
 十年前は浮田小が閉校した年、そして震災の年でもありました。その後、新しい建物が立ち復興も進みつつありますが、失ったものや旅立った大切な人達への感謝の心を持ち、一日一日を大切に生きていきたいと思えます。



- ① 記憶に残っている記事は
- ② この10年の変化は
- ③ 熱中していること(至福)

平雄二さん
 ①川の生物調査の記事で、水が汚れてるとの内容があった。後世の為に在来生物や環境を守る事が必要と感じた。
 ②歳をとるごとに感じる身体の変化と家の老朽化。
 ③②の改善の為に、適度な運動と必要に迫られた家のDIY。至福の時間はやっぱり仕事終わりの一杯でしょ!



千葉 紗也香さん
 ①「あの人この人」
 ②学生から社会人となり、言葉や行動に今まで以上に責任を持つようになったことに10年の変化を感じます。
 ③好きな音楽をかけてドライブする時間です。



千葉 裕子さん
 子ども達を育てるのに、一生懸命でした。近くの親類(お姉さん? みたいな人)とハウスでお茶のみが楽しみの一つです。家族と旅行してみたいです。



平野 栄治さん
 ①変化の少ない田舎暮らしですが、「あの人・この人」の新規住人の参入があり、地区の生活に少しずつ変化が見られる。
 ②県交通の撤退、東和小学校への統合、浮田保育所の閉園等寂しさが増した。
 ③小学校3年生の外孫が、土日の時折、一人で泊まる度に、自分の老いとは逆に成長を嬉しく感じる。



藤井 崇さん
 私が今熱中している事は、2年前から始めた海釣りです。春〜秋までは農作業などで夜釣りですが、冬は日中もよく行く事ができます。最近のコツをつかんできて、40センチも超える魚が釣れ楽しいです。



宮川 久子さん
 ①毎回タイトル画と文で、春夏秋冬がわかり、知らない花とか木などを知ることが出来る。
 ②地域の子供達が少ない。
 ③エコクラフトをしています。エコバックは夏のイメージがありますが、季節に関係なく一年中使えるので、いつも新しいバックを持つて歩けます。



おめでとー！ ピカピカの一年生



子供会に入会した新1年生5人に聞きました。

質問
① 大きくなったたら何になりました？
② 好きな食べ物は何？
③ 小学校に入って楽しい事は？

- 大上ひよみさん
- ① ケーキ屋さん
- ② カツ丼
- ③ ブランコで遊ぶこと

- 佐々木あさひさん
- ① 大工さん
- ② スズキ(魚)
- ③ 従兄弟と遊ぶこと
- 小原ゆうがさん
- ① 消防士さん
- ② レタス
- ③ 鉄棒をすること
- 釣木澤さくらさん
- ① アイスクリーム屋さん
- ② パイナップル
- ③ 友だちといっぱい遊ぶこと
- 小原ひおりさん
- ① アイス屋さん
- ② トウモロコシ
- ③ すべり台で遊ぶこと

あの人 この人 「はじめまして、どうぞよろしく」 肥田葉子さん(上浮田)

開け放されたリビングから聞こえてきたのは、アコーディオンの軽快な調べ。水仙と笑顔のお出迎えである。昨年12月に臥牛から浮田のメイン通りに引っ越された、肥田葉子さん。リンゴ園での交流等から今の家と巡り合う。

東京出身。10歳からアコーディオンを習い、写真家、音楽講師、作曲活動、色々な顔を持つ。細かりっとし

た身体に12キロものアコーディオンを抱え立奏する。「風が吹くように日常に演奏が流れるイメージで人との触れ合いの場を大切にしたい。人と人との出会いは足し算でなく掛け算。人も自然も穏やかにながれていて、奥ゆかしく親切なこの地が好き！これからの出迎いが楽しみ。いつでも歓迎。お喋りにお出で下さい。出張演奏にも応じ指導もOK



♪『新緑』浮田生まれの作曲も披露して下さいました。(茂)

リレー エッセー 好きを見つめる

「好きこそものの上手なれ」「下手の横好き」これはお互いが対義語の関係にあります。どちらにも共通して言えるのは「好きなものは続けられる」ということだと思います。

私が以前から続けている趣味の模型作りも、そんな「好きなもの」の一つです。小学校の頃より始めて、もう二十数年も経ちました。まさかこれほど長く続けるとは、と時折振り返り感慨にふけることがあります。やはり「好きだから続けられたのだろう」と結論がきます。

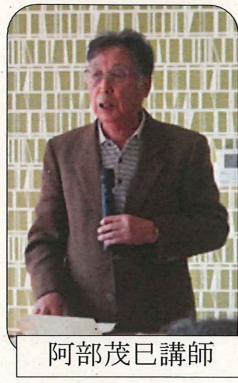
先日、父が定年退職となりました。といっても、再任用を受けてもう少しばかり仕事を続けるようですが、現役の時よりかなり余裕があります。できた余裕を、これからは「好き」のために使っています。(中内駐在所 勝田 純)

ゆるゆると カントリーヘッジ (羊の生垣)

羊たちの冬場の備えにと常緑樹のアオキやマサキを家の裏山斜面に増やしてきた。冬もそろそろ終わる頃、まだ雪の残る裏山を歩いた。葉を食べ尽くされたアオキが何本も、雪が残る蹄跡に時折見かけるようになった。ニホンジカが家のすぐ裏山まで来ているのだと知った。移動しながら草や木の葉を喰む羊と同じ：シカが座つたと思われ場所に立ち、歩きながら葉を喰むシカの動きを想像する。春4月、家の向かいのお社へ上がる斜面にカモシカが1頭座っていた。草の原を歩く親子のカモシカをここで見かけていたのは高速道路の工事が始まる前のこと：本当に久方ぶり。ひだまりで反芻する羊は目を細め、まるで笑っているよう：幸せな光景、大切にしたい平和な時間。おだやかな陽気にくつろぐカモシカをぼんやりと見つめていた。春。(山本実紀)

歴史講座 「百姓一揆の世話役が村肝になつた事」(後編)

前回では、浮田村の理惣治他二人が一揆の頭人となり藩へ訴えを起し盛岡に向かったところまでお話を致しました。



阿部茂巳講師

関口村で訴状を渡した一揆では、賄い事はすべて浮田村から調達し、行く先々に迷惑をかけなかったためか、万事世話をした浮田村の三人は、何のお咎めもなく無罪となっています。しかも、一ヶ月後には百姓一揆の先導者であった理惣治が入り札によって村民から指示を受け新肝煎(村長)になることを藩も容認したのです。

この様なことは全国でも

馬っこ(マッコ)繋ぎ

近年には稀な豪雪の冬も終わり、山桜が咲く頃になって、今年も農作業が始まりました。

馬から牛へ、そしてトラクターへと時代と共に農作業も様変わりし、今は軽快なエンジン音で春が進んでいきます。畜力に依る農耕が盛んなころの六月十五日(旧暦)は「馬っこ繋ぎ」の日でした。

馬屋(厩舎)のコエ(堆肥)、踏み、田圃へのコエ運び、田打ち、田掻き等一連の作業を『牛馬の様に働く』の例えの通り活躍する馬や牛に感謝し、その労をねぎらうお祭りです。

それは馬の絵を障子紙に例がなく稀な出来事で、立場が代わった理惣治は、今度は逆に勢い立つ一揆の青年達を幸神社でなだめ、解散させるなど、肝煎任期三年を無事勤め上げています。

百姓一揆を先導した浮田村の頭人理惣治達は、藩からも村民からも慕われ人望が厚かった結果であり、このような浮田村の百姓一揆物語を義民史として後世に語り継ぐべきだと講師は力説していました。

(秀)

描いたり(和賀、釜石地方)藁で馬の形を作って(遠野、江刺地方)それを田圃の水口(みなぐち)や井戸端に葛の葉で包んだ米粉団子と一緒に子供に食べていました。当地でも昭和40年頃まで見られた行事です。

地域には馬の姿も牛の鳴き声も聞こえなくなつた今、懐かしい思い出だけの風習になりました。

(浩)



大迫、久出内の「馬っこ繋ぎ」

事務局だより 「遊報」

○今回は、補助事業の一部を紹介します。

○「農作物獣害防止事業補助金」電気柵や箱わな等の購入に対し上限を定め2分の1を補助するもの。

○「薪利用促進事業補助金」立木の伐採や薪づくり用具、薪ストーブ等の購入に対する費用に対し上限を定め2分の1を補助するもの。

○これらの他にも「安全と景観対策事業」「除雪支援金交付事業」「寝たきり老人等おむつ給付事業」などを展開しております。

(輝)

コロナが早く収束しますように!



振興センター玄関のシヨークースに、浮田子ども会が冬休みに制作した「うまびえ」(一関商工会議所考案)を展示しています。どうぞ見いらしてください。

(多)

編集後記

「結いの里便り」は、創刊から十一年目に突入しました。最初から係わったものとして感慨深いです。当初から地区の方々に参加戴くことを大事にしてきましたが、今回は10年経過記念として、同じ設問で10人の声を聞く特集をしてみました。今後多くの方の出番の形を考えていきます。

コロナ禍終息が待ち遠しいですが、心がけを良くしてもう暫く辛抱しましょう。

(保)

- 編集委員長 平野 秀明(上浮田)
- 編集委員 平野 浩一(宮田)
- 平野 保(毒沢)
- 山本 実紀(毒沢)
- 藤井 茂(毒沢)
- 千葉 美恵(下浮田)
- 千葉 二三恵(中内)
- 山口 友恵(宮田)
- 題字 千葉 稔(下浮田)
- 事務局 藤井 輝雄(中内)
- 小田島多賀子(下浮田)